学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
〒171-8588東京都豊島区
目白1丁目5番1号
黎明会館316号室
電話 03（3986）0221内線2607
http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~press/
press@gakushuin.ac.jp
発行・編集人　澁谷毅士
年間500円

奨学金の利用状況

5年ぶりに採用率100％切る

平成20年度学習院大学奨学金

平成20年度「学習院大学奨学金」および「日本学生支援機構奨学金」の申請者数と採用者数が発表された。本学が独自に設置している奨学金制度である「学習院大学奨学金」は申請者数の急増により、4年連続で100％だった採用率が80％程度にまで低下した。それに対して「日本学生支援機構奨学金」においては、昨年度を上回る結果となり、依然として高い採用率を保っている。

本学では、経済援助および学業奨励のために奨学金制度を設けている。学生は定められた条件に適合すれば学生部に奨学金申請をすることが可能だ。

奨学金には大きく分けて2種類ある。返還義務のない給付型と、返還義務のある貸与型だ。また、公募制と推薦制という区分けもあり、前者は学生が各自の意思で申請できる。本学の主な奨学金についてまとめると以下のようになる。

【公募制貸与型】
・学習院大学奨学金
・実吉奨学金
・日本学生支援機構奨学金
（第一種・第二種）

【公募制給付型】
・学習院大学
学費支援給付奨学金
・学習院大学
海外留学奨学金
・学習院大学教育ローン
金利助成奨学金

【推薦制給付型】
・学習院大学
学業優秀者給付奨学金
・安倍能成記念
教育基金奨学金
・学習院
末松奨学基金奨学金
・関育英資金

これらの中で特に申請者が多いのは、「学習院大学奨学金」と「日本学生支援機構奨学金」である。公募制貸与型なので採用枠が多く、人気が高いのだ。

「学習院大学奨学金」は定期採用枠予算内で貸与を行う。そのため、申し込んだ学生が激増した今年度は、例年のように全員を採用することができなかった。申請者は昨年度の125名から97名増えて222名（学部生183名、大学院生13名、法科大学院生26名）。そのうち採用者は177名で、昨年度と比べ52名増となっている。

また、例年とは違う傾向として、新入生の申請が多かったことがあげられる。学生部委員会は、規定に則った申請者の増加を受けて学生の資格審査を行った。今年度の採用方針については、なるべく多くの申請者を採用するという目的を持ちつつ、慎重に取り決めた結果であるという。

一方で「日本学生支援機構奨学金」は、例年通り高い採用率を維持している。昨年度の494名をやや下回った申請者数は466名で、うち採用者数は昨年度と同じ437名だった。

奨学金を出願する際には、一定の「家計基準」や「成績基準」に達さなければならない。貸与型の奨学金を申請する上で多少条件を満たしていない場合は、学生部にて相談を受け付けている。ただし、貸与型の奨学金は卒業、もしくは修了後に返還の義務がある。奨学金の目的を正しく理解した上で借りることが重要だ。

なお、平成20年度「学習院大学奨学金」、「日本学生支援機構奨学金」の申請者・採用者数は表の通り。

奨学金の申請・採用状況

平成20年6月20日現在

区分	学習院大学奨学金				日本学生支援機構奨学金			
	申請数		採用数		申請数		採用数	
法学部	37	(+19)	27	(+9)	82	(−5)	77	(−8)
経済学部	52	(+22)	42	(+12)	92	(−15)	88	(−9)
文学部	67	(+33)	52	(+18)	145	(+1)	142	(+11)
理学部	27	(+17)	19	(+9)	42	(−4)	42	(―)
学部計	183	(+91)	140	(+48)	361	(−23)	349	(−6)
法学研究科	0	(―)	0	(―)	0	(―)	0	(―)
政治学研究科	1	(+1)	1	(+1)	3	(−1)	2	(−1)
経済学研究科	0	(―)	0	(―)	0	(−1)	0	(−1)
経営学研究科	0	(―)	0	(―)	3	(―)	3	(―)
人文科学研究科	12	(+4)	10	(+2)	47	(+24)	42	(+23)
自然科学研究科	0	(−1)	0	(−1)	15	(−28)	11	(−17)
大学院計	13	(+4)	11	(+2)	68	(−6)	58	(+4)
法科大学院	26	(+2)	26	(+2)	37	(+1)	30	(+2)
合　計	222	(+97)	177	(+52)	466	(−28)	437	(―)

※（　）は昨年度比を表す。

理学部の中枢に

自然科学研究棟


最新鋭の設備が整う新棟

来年度12月、自然科学研究棟が完成予定となっている。これは、理学部に生命科学科を設置する「生命科学プロジェクト」の一環として行われているものだ。理学部関連の施設を機能ごとに一ヶ所へ集約するという目的のもとで、現在建築計画は進行中だ。この自然科学研究棟が、今後理学部の新たな拠点になっていくという。

生命科学とは、全ての生物に共通するDNA、タンパク質といった生命の原理そのものを分子レベルで研究するという新しい分野である。これは、動物や植物という個体の研究に主眼を置いた生物学とは異なっている。本学は、1991年に理学部大学院に開設された生命分子科学研究所を中心に、ポストゲノム時代に第一線で研究を進めてきた。その上で、これまでの実績を踏まえ、生命科学の本格的な教育・研究に乗り出すこととなった。

生命科学科そのものは新棟建設にさきがけて、来年度4月に開設される見通し。現在理学部は、生命科学をより身近に感じてもらうために、シンポジウムを開くなど、活発な広報活動を行っている。

新棟は、目白キャンパスの南側、南1号館奥に建設される。地上9階・地下1階の同施設は、4～9階の上層部に専門性の高い研究室と実験室を配置。1～3階の下層部には展示ホールや学生実験室、講義室、工作工場などが置かれ、数多くの学生が利用できる。

なお、重要度の高い設備は予備機や非常用電源が備えられているので、緊急時や故障時でも継続運転が可能とのことだ。また、情報ラウンジや自習室、ロッカー室といった学生生活に欠かせないスペースも確保されている。

自然科学研究棟の建設に関して、八田誠施設部長は「新棟ができることによって、学生、教職員間の活発なコミュニケーションが促されることを期待しています。この新たな空間が、みなさんに知的刺激をもたらす場となることでしょう」とコメントした。

学習院 研究最前線

学問研究の「いま」

「社会に向けた取り組み」

法学部法学科　横山久芳准教授

著作権法のこれから

今回は、法学科の横山久芳准教授です。先生は現在、知的財産法についての研究をされています。その中でも、近年特に脚光を浴びている著作権法を中心にお話を伺いました。

（取材・構成　勝浦輝実）

◇　◇　◇

研究に至るきっかけ

知的財産法とは、特許権や著作権などに関する法律だ。先生は大学院に入り、元々は刑法を専攻するつもりであったが、著作権法のゼミに所属することになり、その面白さに気が付いたという。

「知的財産法は、人々が創作活動によって生み出した様々な情報などを保護しています。技術の発展と共に著作物の範囲は広がっていき、それに応じて法律内容も変化していくという、動きの激しい分野です。元々、法律に対して私が持っていた固定的なイメージが覆されるような、知的財産法のダイナミックさに対して興味を持つようになりました」

現代においての著作権法

知的財産法の中で、現代の私たちの日常生活に最も深く関わっているのは著作権法である。著作権とは、作者のみが自身の作品を独占的に利用できるという権利だ。新たな情報を創造した人に対して、その利用者から適切な報酬を得る機会が保証されているのである。

「著作物を創作した人は誰でも著作者になることができます。ですが、私たちの生活に身近であると同時に、その権利を侵害するおそれも隣り合わせにあるので注意して下さい。そういった点で、現在とても重要視されている法律です。学生時代は特に、レポートを書く機会が多いですよね。その場合、自分が著作権法に違反していないかを随時確認することが大切になってくるでしょう」

誰もが一度は、自身の引用箇所の著作権などについて考える状況になったことがあるのではないだろうか。その場合は、文献をしっかりと明記するなどの必要がある。それは、著作権の第一の目的である情報保護のためなのだ。その一方で、制限をしすぎると情報を独占することともなりかねない。行き過ぎた保護と独占は法律として成り立たないのだ。

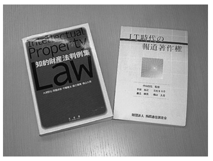
「現在の法律だと、誰かの論文を参考にしたり、その中の一部を引用したりすることは可能です。しかしその情報を著作者のみが過度に独占してしまうと、引用などができなくなり、身動きが取れない状態になってしまうでしょう。ですから、法律を制定する時には、情報の保護と独占のバランスを考慮しなくてはいけないのです」

ネット普及による制度改革

知的財産法についての法律ができた当初は、出版や放送といった特殊な業界だけに関わるものであると考えられていた。だが、現在では一般人もインターネットという媒体を通じて、容易に著作物の複製や、不特定多数の人に対して創作物の送信などを行える機会が多くなっている。そうした時代を踏まえて、先生は今後の研究の方向性について語った。

「インターネットというものは誰にでも簡単に利用できてしまうので、私的な領域の延長線にあると思われがちですが、万人が閲覧できる完全に公的な領域なのです。例えば個人のブログなどで自分の作品などを配信できて、それを世界中から見ることができるようになり、便利にはなりました。けれども、不正アクセスされたり、勝手に悪用されたりする危険に直面する可能性も低くありません。このようなデジタル化された環境では、現行法が既に適合しきれなくなってきているのです。そういった現実へ対応できるような法律について、今後も考えていきたいです」

このように、インターネットに関する問題を中心に新たな法制度を早急に定め、施行する必要がある。著作権の世界で、この実状は今や見過ごしたままにしておくことはできないのだ。ネット社会の到来によって、著作権法は変革の岐路に立たされている。先生はその状況を改善するために、これからも研究に情熱を注いでいく。



知的財産法に関する先生の共著

PROFILE

横山久芳（よこやま・ひさよし）
東京大学法学部を卒業後、同大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。同大法学部助手を経て、02年より本学法学科准教授に就任。共著に「知的財産法判例集」などがある。

素朴な疑問

意外な絆　発見！

部活動に「顧問」の先生がいることはよく知られている。しかし、その顧問が部活に関して、一体何をしているかわからないという学生は多いのではないだろうか。そんな素朴な疑問を、学生部を通じて調べてみた。

部活動における顧問の最大の意義は、活動について技術的に指導・監督するという面もあるが、むしろ精神的な協力者として助言を行うことである。具体的な仕事の内容は部活動によって異なっているため、一概に言うことはできない。それでも、どの顧問にも共通している基本的な役割はある。大会の出場や部活動の運営などに関するアドバイス、事務的な書類の手続きを行うことなどがそれだ。他にも非常事態の際に学生部と対応を協議するのも、顧問の大切な役目である。また、その選出方法は案外知られていないが、部に所属する学生自らが、専任教員の中から選んでお願いすることができるのだ。

これまで、私たちの多くは顧問と接点が無い学生生活を送っているように思いがちだった。だが、実は先生たちはこのように私たちの部活動を蔭になり日向になり支えているのである。（山）

部　会　名
部　　長 （教　　員）

本年度から開催

「元気」プロジェクト

8月4日から13日にかけて、「学習院『元気』プロジェクト2008」が実施される。このプロジェクトは、学生たちがロシア連邦サハリン州でサイクリングツアーを行うというものだ。ツアーの目的は「学習院生は実は活発だ」という実態を学校の内外に発信し、院内の一体化を進めることだという。ツアーには、教職員スタッフ7～10名と、女子高等科・女子大・大学の学生20～28名が参加する予定だ。ツアー内容はサイクリングだけではなく、サハリン大学日本語学科の学生との国際交流も含む。また、建設途上の巨大石油・ガス基地の見学や、日本関連施設を巡る行程も盛り込まれている。

サハリンで開催される理由は、ロシアが日本から最も近い国であるにも関わらず、交流が少ないからだ。ロシアは観光資源も充実し、日本ゆかりの史跡も多い。さらに、夏でも涼しいサハリンの気候がフィールドワークに適しているということもある。

ツアー発案者の一人である、経済学部上田隆穂教授は「今後はこのような試みをより充実させていきたいですね。今回のプロジェクトは、スタートとして重要な位置付けにあります。ぜひ温かいご支援をいただければと思っております」と意欲を見せた。

情報特急便

救急救命講習会
日時：7月中
場所：保健室
内容：心肺蘇生法、止血法、固定法
費用：1400円（テキスト代）
備考：事前に保健室へ申し込むこと

英語英米文化学科発足記念特別講演
「世界文学の楽しみ」
日時：7月18日（金）
場所：百周年記念会館正堂
講師：池澤夏樹氏
備考：予約不要、聴講無料

第1回就職セミナー
「就職活動の流れとポイント」
日時：9月25日（木）
場所：百周年記念会館正堂
講師：有松広道氏（㈱ディスコ）
備考：3年生の就職希望学生は必ず出席すること

伝統文化の夕べ
「能と日本舞踊のコラボレーション」
日時：9月27日（土）午後4時開演
場所：百周年記念会館正堂
演目：　舞囃子「江口」
金春安明（金春流シテ方宗家）
笛：小野寺竜一
小鼓：幸清次郎（幸清流宗家）
大鼓：亀井忠雄（人間国宝）
長唄「時雨西行」
西行：西川一馬
江口：西川雪乃
費用：学生3000円
備考：問）03―3223―3743
郵便振替：00170―2―671173

明窓浄机

「忙」という字はよくできた漢字だと思う。辞書的に言えば、心を表す「忄」と、音を示す「亡」を組み合わせた形声文字である。詳しい起源が何にせよ、気が急く様を「心を亡くす」のように表現するとは、先人もよく考えたものだ▼2年に上がってからというもの、授業に部活にアルバイトと、何かにつけて去年よりも時間的な余裕がなくなった。常に何かに追われているような感覚で毎日が過ぎ、あっという間に1週間が経ってしまう。「時間がない」「忙しい」といった言葉をよく漏らすようになった気がする▼そんなある日、私は最近、やるべきことをどこか機械的に処理している自分に気がついた。去年は何事にも新鮮さが感じられ、多少忙しくても楽しみながら取り組んでいた。しかし、今では心にゆとりがないせいか「とりあえず終わらせなければ」という乾いた気持ちで行動している自分がいる▼内容が同じでも、見方次第で心持は大きく変わる。ならば、事務的にこなすよりも楽しんだほうが良いはずだ。いつの間にか忘れていた、去年のあの感覚を思い出した▼テストが終わり、夏休みが明けたら再び多忙の日々が待っているだろう。だが、忙しい時ほど物事を楽しむ、という気持ちは持っていたいものだ。文字通り、心を亡くしてしまわないためにも。（恵）

紙面紹介

2・3 ロマンに浸ろう

長い時を経て、より一層の優雅さが漂う近代建築。歴史ある建物を訪れ、夏の休日にタイム・トリップを楽しんでみよう。

4 ラクロス部白星

四大戦制覇に向けての大事な初戦。本学は成蹊大に対し、圧倒的な実力差を見せつける。結果は12－4と、見事大勝を飾った。

残心

いよいよ我々の引退の番だ。「色々なことがあった」で片付けたくない色々なことがあった。自分は良く生きているのか、迷いは尽きないけれど時は流れる。それではみなさん、どうも有難うございました！（毅）

学習院俳句会

☀夏の一句☀
～ジーパンや
洗ひ晒しの
夏を履く～
けん

俳句会にいらっしゃいませんか
―新しい自分との出会い―

俳句を作るには特別な知識や勉強が必要だと思っている方、まず次の句を読んでみてください

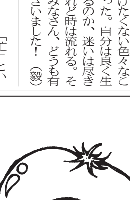
散るまでは隠れをりしか柿の花
まどろみの視野に揺れをり柿の花

同じ題材でも、自分の感覚で様々なアプローチがあること…それが俳句の楽しさです！
例会に参加して、その楽しさを味わってみませんか？

【日時】７月例会…７月２６日（土）　14時～16時３０分
【会場】百周年記念会館
【会費】参加費…2,000円　見学…500円　※飲み物、会報つき
《今後の予定》８月例会（吟行）…８月２９日（金）
９月例会…９月１９日（金）

連絡先
代表：津端きしを
Tel　090-7287-2130
03-3828-4271

次回発行は9月下旬！ご期待ください



学習院大学新聞社は、年に８回発行を行っています。

学内情報や、役立つ知識満載の企画。そしてスポーツの試合結果速報など、学習院大の「今」をどこよりも早くお届けします！

ぜひお手にとってご覧ください。

学習院大学新聞社
黎明会館３１６号室
E-mail : gakushuinpress@hotmail.com

明治維新による近代化の源である西洋文化は、日本の生活に大きな影響を与えた。近代建築はその代表格だ。重厚な美しさを放つこれらは、今なお街のシンボルとして活躍している。

ひっそりと佇む和洋折衷の館

鳩山会館

護国寺を背にして道の左側を進む。すると、青いビルの手前に鳩山会館へと向かう道が見えてくる。道に入り坂を上ると、四代に渡って日本の政治と教育の近代化に大きく貢献した鳩山家の記念館がある。

鳩山家がこの地に居を構えたのは明治24年。そして現存する洋館が完成したのは、大正13年のことであった。この頃は洋風建築物に日本独自の建築様式を取り入れよう、といった議論が盛んになされていた。当時、天才と云われた建築家の岡田信一郎は、友人の鳩山一郎のためにこのような気運を踏まえて鳩山会館を手掛けたのだ。その結果として、この建物は洋館ではあるが、日本独特の建築仕様も多いものとなった。

館は地上2階と地下1階という構造だ。現在地下は事務所になっており、見学することはできなくなっている。玄関から入ると小さなホールがあり、左手に2階へ上る階段、右手の二つの応接間の先にはサンルームが。そこから外に出ると、美しい庭が広がり、気品のある館の姿を望むことができる。一旦ホールまで戻り階段の踊り場へ進むと、窓に鳩と五重塔をモチーフとしたステンドグラスがはめ込まれているのが見える。これは小川三知の作品で、館に見事に溶け込んでいた。

2階に上ると正面には広間があり、右には鳩山一郎と夫人薫の記念室が設けられている。一方、左の廊下は一郎の息子の威一朗の記念室に続く。それらの部屋は書斎、客間、和室を改修したものだ。それぞれの記念室には遺物が展示されているのだが、中でも強烈な印象を残すのは一郎のデスマスクである。眉毛や髭の痕跡までをも忠実に再現しているこの石膏は、戦後の転換期の政治家の顔を後世に伝えている。

鳩山会館は近代建築の代表的な建物である。しかし、それらの中ではかなり後期の建造物であるため、単なる洋館というわけではない。この特異な作りの洋館を訪れ、そしてそこに住んでいた鳩山家について考えを巡らし、感慨に耽ってみるのも良いものである。（小畑裕輝）

「鳩山会館」
開館時間…10時～16時
休館日…月曜日
入館料…300円


閑静な街並みと調和する鳩山会館とその庭園

明治の風感じる

聖徳記念絵画館

青山通りの明治神宮外苑入口から、イチョウ並木の向こうに見える建物、それが聖徳記念絵画館だ。青山通りから見ると絵画館が中心になるように、工夫してイチョウ並木が植えられているのだという。その眺めは、東京都の景観条例によって守られているほどの壮観さである。

明治天皇と昭憲皇太后を描いた絵画を展示し、その聖徳を後世に伝える目的で建設された絵画館。その建物は、大正8年に一般公募の中から選ばれた図案をもとに着工された。しかし、4年後に起きた関東大震災で、建築資材等に多大の被害が出た。そのため一旦工事が中止されたものの翌年には再開され、大正15年にようやく竣工し、今日の姿となったのである。

間近に見た絵画館の形には、少し驚かされてしまった。中央にドームを冠し、そこから東西に一直線に伸びた、何とも特徴的な形をしていたからだ。ドームの頂点は地上約32メートル、東西の長さはおよそ112メートル。外壁と階段には花こう岩が使用されていて重厚な印象を与えている。

では、絵画館の中に入ってみよう。正面の階段を上ると入口があり、中に入るとそこは中央大広間、ドームの内側に当たる部分である。大広間は国産の天然大理石張りで、凝った細工が施されたレリーフなどの装飾が各所に配されていた。それらは決して派手ではないが、建物内に漂う厳粛な雰囲気を醸し出すのに、一役買っているようであった。

大広間の東側は日本画、西側は洋画の展示室だ。天井は採光のためにガラス張りで、来館者はそこから降り注ぐ柔らかな光に包まれて鑑賞ができる。展示されている壁画は80点、いずれも縦3メートル、横2・7メートルの大作だ。描かれているのは、明治天皇の誕生から崩御までの間に起こった、様々な出来事だ。有名なものを挙げると、王政復古や岩倉大使欧米派遣、憲法発布式などである。全ての絵画を順に見て回ると、急激に近代化を遂げていく日本の有り様を、余すところなく総覧した気分になれた。

どの壁画も価値の高いものばかりだが、絵画館の建物自体にも歴史的、美術的な意義が詰まっている。そんな文化の香り漂う場所で、明治の頃に思い巡らせてみてはいかがだろうか。（美馬香織）

「聖徳記念絵画館」
開館時間…9時～17時
休館日…年中無休
入館料…大学生300円


明治神宮外苑のシンボル的な存在

豪華絢爛な和風建築

歌舞伎座

東京メトロ東銀座駅の階段を昇ってすぐ左側に、首を直角に曲げて見上げてしまうほど大きな純和風の建物がある。約120年以上の長きにわたり、日本の伝統文化である歌舞伎を上演してきた歌舞伎座だ。

現存する歌舞伎座の前身ともいえる建物が開場されたのは、大正13年のこと。設計者は、鳩山邸や明治生命館の設計も手掛けた、近代建築の大家、岡田信一郎だ。様々な趣向が凝らされたこの建物は当時の人々の心を捉えたが、昭和期に戦禍に巻き込まれ焼け落ちてしまう。しかし戦後になり、岡田の弟子であった吉田五十八により復興工事が行なわれ、歌舞伎座は見事に復活、現在の姿となった。なおこの修復工事の際、吉田は戦前の歌舞伎座の姿を踏襲した上で、新たな工夫を加えたという。つまり歌舞伎座は、日本が誇る2人の名建築家の創意が存分に発揮された建物なのである。このような歴史を踏まえ、さっそく歌舞伎座を見学してみよう。

約6000平方メートルという広大な敷地に建てられた歌舞伎座の外装には桃山風建築の意匠が施されており、まるで城郭のような風格ある佇まい。この外観は、岡田の設計をほぼ再現しており、現代も大正時代と変わらぬ趣で観客を迎えてくれているのだ。なお、歌舞伎座に行った際にぜひ注目してほしいのが、劇場正面の左右にある絵看板。そこには、歌舞伎の華やかな世界が色鮮やかに描かれており、道行く人の心を魅了している。

さて、歌舞伎座は地上4階・地下1階という造りになっている。客席は4層に分かれており、席数は1900席以上だ。なお、館内の柱や絨毯の色は全て朱色で、劇場の豪華さの中に深い味わいを出している。

銀座という新しさと古さが共存する街において、日本の伝統美の象徴的存在となっている歌舞伎座。もしもこの夏、歌舞伎を観に行く機会があれば、舞台だけでなく建物にも目を向けてほしい。文化の継承を支えてきた歌舞伎座が持つ落ち着いた雰囲気は、きっと私たち若者に新鮮な感動を与えてくれることだろう。（竹内智紀）


多くの歌舞伎がこの場所で公演されてきた

大人も楽しい児童文学の世界

国際こども図書館

上野駅を出て、上野公園内を散策しながらしばらく歩くと、国際こども図書館に辿り着く。予想以上に巨大なその建物は、比類なき存在感を放っている。

国際こども図書館の建物自体は、明治39年に帝国図書館として建てられた。この帝国図書館は、建築家のジョサイア・コンドルに師事した久留正道、真水英夫らによる設計。昭和4年に増築され、ルネサンス様式の明治期洋風建築として東京都選定歴史的建造物の指定を受けている。そして平成14年からは、初の国立児童書専門図書館として全面開館となった。当時の荘厳な姿を現在に伝える、貴重な存在である。

それでは早速、中に入ってみよう。入り口には改装時に新たに造られた2枚のガラスの壁があり、外装とは対称的にモダンな様相である。室内の壁や天井には漆喰が使用され、時間を忘れて見入ってしまうほどだ。1階は自由に使えるフロアとなっていて、国内外のこどもの本を閲覧することが出来る。絵本を始め、幼い頃に慣れ親しんだ懐かしい作品が、所狭しと並んでいる。次に、旧貴賓室である「世界を知る部屋」に入ったところ、他の部屋より少し薄暗い。係の人に話を伺うと、ここでは、当時の部屋の暗さが再現されているそうだ。自分が「貴賓」になった気がして、少し誇らしくなった。

続いて、鉄製の大階段を昇り上階へ。2階の資料室には、世界の児童書などが蔵書されていて、世界のこどもたちがどんな本を読んでいるのかを知ることが出来た。3階の「本のミュージアム」では、年数回展示会が開催される。天井高10メートルの室内は圧巻だ。名称だけならこどものための施設というイメージだが、館内は大人も楽しめる内容となっている。

この建物は、明治から平成、年数にして100年以上の4つの時代を経験してきている。かつては芥川龍之介、樋口一葉、宮沢賢治など著名な作家も好んで通ったという。「こども」という名前に尻込みせず、「大人」のあなたにも、ぜひ一度訪れていただきたい。（宮下秀毅）

「国際こども図書館」
開館時間…9時30分～17時
休館日…月曜日
　第3水曜日
　祝祭日（5月5日を除く）
入館料…無料


見る者を圧倒する国際こども図書館の建物

伝道時代を回顧

雑司が谷旧宣教師館

閑静な住宅街にひっそりと佇む洋館――雑司が谷旧宣教師館だ。ここは元々、アメリカ人宣教師のマッケーレブの自宅として建設された。明治40年に建てられた、豊島区内で最古の近代木造洋風建築である。と同時に、全国に10数件しか残っていない明治時代の宣教師館の形を伝える、非常に貴重な建物なのだ。

本学から歩くこと約25分。目に入った建物は、白い板に緑の柱を基調とした爽やかなイメージであった。この外壁はシングルと呼ばれる幅広い木の板でできており、細部のデザインはゴシック様式を用いている。室内に入る前には、玄関ポーチや出入り口にある方杖（ほうづえ）と呼ばれる支えを見てほしい。たすきがけの飾りがあったり、つけ根の部分が丸く削り出されていたりと、意匠を凝らした作りが見られる。

そして外から見たときには、窓にも注目してもらいたい。玄関脇の張出し窓は、1階は角が斜めに削られたような形になっているのが分かる。それに対し、2階は直角のままであるなど、変化をつけたデザインが施されているのだ。ちなみに、この建物の主な窓は上げ下げで開閉する様式。下の窓は単純な形であるが、固定されている上の窓は装飾的な組子が複雑な形に作られている。このような設えも、アメリカの木造ゴシック様式に共通して用いられているものだ。

では、いよいよ宣教師館の中へ入ってみることにしよう。1階では、マッケーレブの宣教活動や生活ぶりを紹介。廊下を伝って行った奥には、児童図書コーナーという部屋も用意されている。ここでは「赤い鳥」「子供之友」など、近代の雑誌や図書を自由に閲覧でき、ちょっとしたくつろぎスペースになっている。

また、館内の造りで目を引くのが1階と2階を結んでいる暖炉だ。今は使われていないが、当時の焚口は各部屋に残っている。特に1階の居間の暖炉は、アール・ヌーボー風のタイルや鋳鉄の金物、けやき材を使って華やかに飾られ、素敵な構えとなっていた。

さらに今度は階段を上って2階へ。この階では、雑司が谷と関係が深い文学者についての資料が展示されている。また、元浴室だった場所には当館に関するデータが置いてあり、自由に見ることが可能だ。見学中に気になったことがあったら、ここで調べてみると良いだろう。

天気が良ければ、本学から徒歩で行くのも十分可能。休講で空いた時間を学生ホールで過ごすのもいいが、たまには学外に出て芸術に触れるのも有意義な過ごし方だ。（和田恵理子）

「雑司が谷旧宣教師館」
開館時間…9時～16時30分
休館日…月曜日
　第3日曜日
入場料…無料


晴れた空の下に映える白い外壁

東京で出会う芸術空間 近代建築散歩

身近にありながらも、普段はその美しさに気付かず、素通りしてしまうことが多い近代建築。だが、今一度じっくりと眺めてみたら、ノスタルジックな外観の秀麗さに心惹かれるはずだ。今回は、そんなロマン溢れる建築の数々を紹介。大学から近いものもあるので、気軽に足を運んでみよう。

甦る文豪の暮らし

旧江戸川乱歩邸

『怪人二十面相』や『少年探偵団』などの数々の名作を生み出した文豪として知られている、江戸川乱歩。引っ越し魔であった彼が、晩年を過ごした家屋が立教大学の敷地内にある。これが江戸川乱歩邸だ。ここには、つい数年前まで乱歩の親族の方が住んでいたという。

まさに一昔前の家、という外観である。特別な造りではないが、その普通さがかえって懐かしさを感じさせた。表札には彼の本名である「平井太郎」と記されており、彼がこの家で時を過ごしたことを証明している。大学と隣接しているにも関わらず、建物の中はとても静かな時が流れていた。

まず母屋へ入り、1階にある書斎を覗いてみる。そこはまさに、「レトロ」が詰まった空間であった。趣のある暖炉がどっしりと構えていて、その上には彼が獲得した数々のトロフィーが並べられている。乱歩作品の挿絵を手掛けた人物が描いた乱歩の肖像画は、上品な雰囲気を作り出していた。他にも様々な絵画が飾られており、乱歩の芸術に対する造詣の深さが伺い知れる。また、彼が使用していた複雑で美しい彫刻が施された机は、古い年月を感じさせるものだった。

さらに外へ出て、母屋の裏にある、かつては庄屋の蔵であった土蔵まで歩いてみる。そして、その厚い扉を開けると、たくさんの古い本が目に入った。右は和書、左は洋書と分別されており、棚一面にずらりと書物が並べられていた。蔵の中央には、古い日本家屋によく見られる木製の階段がある。それを上り2階へ行くと、彼自身が集めたという『好色一代男』、『男色図鑑』、『好色一代女』などの貴重な本のコレクションを閲覧することができた。全部の本がタイトルの書かれた箱に丁寧に収められていて、彼の几帳面さが表れている。また、自著本全ての初版が収められた棚もある。蔵にある本の数の多さには、目を見張るほどであった。

江戸川乱歩の暮らしぶりや、そのこだわりを感じることが出来るこの家屋。大衆文学の息吹を感じることができるに違いない。（原田富美子）

「旧江戸川乱歩邸」
開館時間…金曜日のみ公開
　10時30分～12時
　13時～16時
入場料…無料


乱歩が余生を過ごした家

学問と芸術の殿堂

旧東京医学校本館

文京区、小石川植物園付近にある鮮やかな赤色の建築物が、旧東京医学校本館だ。明治9年に、現在の東京大学の前身に当たる、東京医学校の中心的な建物として創立された。

この建物には、欧米の建物を日本の職人が見よう見まねで採り入れた、木造の擬洋風建築の様相が残っている。学内外からこの校舎は親しまれ、教室や病室の他に、総長のオフィスとして使用されたという。なお、東京大学の現存する最古の学校建築であるため、昭和45年に国の重要文化財に指定されている。

ところで、この建物がこのような赤色に塗られたのは一体何故なのだろうか。一説には、この塗装は赤門や医学部煉瓦造校舎群との、視覚的な連続性を意識したことによると考えられているそうだ。

また、最も特徴的な点は、旧東京医学校は二度移築された建築物ということ。一度目は明治44年に施設の建替えにともない不要建物として赤門脇へ移された。その際に、窓枠は西欧の古典主義様式風に改造した。二度目は昭和44年に本郷から小石川へ。それは文化財建造物ということを念頭においた移築である。

平成13年11月には「東京大学総合研究博物館小石川分館」と改名され、館内が一般公開されるようになった。外観を残しつつ、大々的に内装を工事して博物館という新たな空間を生み出したのだ。加えて、エレベーターの設置といったバリアフリーにも積極的に取り組んだ構造となっている。

館内に入ってみると、そこには明治以来の各種の学校建築の資料や、各分野の学術標本、器材などが置かれていた。学術的な説明文を排除する斬新な展示は、従来の博物館の概念を覆す。また、触れることはできないが、ガラス越しでなく直接見られる展示物もたくさんあった。そのため、全体を一体化したアートのように見るという新しい感覚を体験できた。

隣接する植物園には、小石川療養所や関東大震災記念碑、青木昆陽の業績を称える甘藷（かんしょ）試作跡などもある。草花が生い茂る自然の中で、文明開化に沸いた時代に思いを馳せてみるのもいいだろう。（木村明子）

「旧東京医学校」
開館時間…10時～16時30分
休館日…月・火・水曜日
入館料…無料


医学の学舎は現在では博物館として活用中

四季薫る雅な庭

旧古河庭園

上中里駅から本郷通りへ進むと、旧古河庭園の入口に辿り着く。この土地は、もとは明治の元勲陸奥宗光の別邸であったが、後に古河家の所有となった歴史を持つ。大正初期の姿を、今もなお留めているこの庭園を散策してみよう。

園内に入ると、爽やかな緑が眩しい芝生の向こうに、煉瓦造りの豪壮な洋館が現れる。地上2階のこの建物は、コンドル最晩年の設計によるものだ。優美な内装の洋室に加え、和室も設備されている館内を巡れば、当時の上流階級の生活様式を垣間見ることができるだろう。ちなみに館内の見学には、事前申し込みと別途料金（525円）が必要になるのでご注意を。

屋敷より一段低い場所にあるのは、約90種180株ものバラが植えられたテラス式の洋風庭園。左右対称の造りが特徴的な庭で、こちらもコンドルの設計である。邸宅を囲むようにバラが咲き乱れる光景は、まるで絵画のような幻想的な美しさだ。なお、バラの季節の5月中旬～6月下旬、10月中旬～11月下旬には、音楽会など様々なイベントが目白押しの「バラフェスティバル」が開催される。ぜひ参加して、バラの魅力を堪能してほしい。

さて、旧古河庭園の見所は洋館や洋風庭園だけではない。バラ園の階段を下ると、そこには植治こと小川治兵衛の作庭である日本庭園が広がっているのだ。その庭の中心となるのは、心字池と呼ばれる大きな池。「心」の字に似せて造られたというこの池の周りに、10数メートルの高所から落ちる大滝や雪見灯籠、水を使用せず山水の景観を表現する枯滝、そして茶室などが設けられているのである。さらに、春には桜やツツジ、夏には花菖蒲が咲き、秋には紅葉、そして冬になると椿が、入園者の目を楽しませてくれるという。庭園が持つ閑寂とした雰囲気は、私たち日本人の心を癒してくれることだろう。

武蔵野台地の地形を活かし、斜面には洋、低地に和の庭がそれぞれ見事に置かれた空間。バラの芳香に包まれながら、その和洋の美が共演する様を眺めれば穏やかで贅沢な一時を過ごせるに違いない。（賀来潤恵）

「旧古河庭園」
開園時間…9時～17時
休園日…年末年始
入園料…大学生150円


春バラの時期には庭園のライトアップが行われる

レトロ気分に酔う

大学生なら、成人を迎えお酒を飲む機会も多いはず。いつもの居酒屋も気楽で良いけれど、たまにはとびきり洒落たクラシカルな店で、大人のお酒の味を楽しんでみてはいかがだろう。ここではそんな趣向にぴったりな、日本最初の洋酒バーを紹介したい。

浅草寺から向かって左手に歩くと見えてくる、丸窓のアーチが目を惹くモダンな建物。それが、この場所に創業して120年になる、神谷バーだ。店内に入ると、古風なワンピースに白エプロン姿のウェイトレスが案内をしてくれ、まるで時代を飛び越えたような感覚になった。

このお店のとっておきの名物が、秘伝のカクテル・デンキブラン（260円）だ。ハイカラな印象を与える名前の通り、その歴史は明治時代にまで遡る。電気が珍しかった当時、真新しいものというと「電気○○」と呼んでもてはやされていたことが、この名称の由来なのだそうだ。大正時代の人々にとっては、浅草で活動写真を観た後、その興奮冷めやらぬままデンキブランを飲みに来るというのが、最高の楽しみだったとか。

運ばれてきたデンキブランは、小ぶりな逆三角形型のグラスに注がれ、琥珀色に煌いている。口に含むと舌にピリピリとした感触が走るのが、まさに電気のよう。アルコール度数は30度と強めではあるが、ほんのりとした甘みがそれを感じさせない。グラスを片手に店内を眺めていると、初めてなのに何故か懐かしいような心地になった。

小腹が空いたので開いてみたメニューに並ぶのは、コロッケやグラタン、カレーライスなどの昔ながらの洋食たち。注文したスパゲッティナポリタン（610円）は、シンプルなトマトソースが古典的な、これぞ洋食と言いたくなる味わいだ。また、神谷バーは萩原朔太郎の詩に描かれるなど、文学上にもたびたび登場している。この椅子にあの作家も座ったのだろうか、などと想像してみると、感慨もひとしおだ。

様々なロマンを秘め、移り変わる時代の中、下町の社交の場であり続けてきた神谷バー。これからもその情緒は色あせることなく、人々に愛されながら多くのドラマを生み出していくことだろう。（眼）

あでやかな煉瓦の壁

東京駅

東京駅は大正3年12月20日に開業した。中央停車場の設計は、明治の建設王と称された辰野金吾が担当。その煉瓦と御影石を交互に組み合わせた独自の作り方は「辰野式」と呼ばれている。南北に330メートルも延びており、煉瓦造りの建築では日本最大だ。外国の大使が着任する際、東京駅から馬車や車で皇居に向かうのが外交儀礼とされるなど、日本を象徴する空間にもなっている。

この駅が着工されたのは、明治40年。その時まだ丸の内一帯は、三菱が原と呼ばれた荒地であった。延べ74万人の職人が建築に当たり、骨組みには3500トンもの鉄筋を使用したという。当時、最先端の工法は鉄筋コンクリート造りだった。だが辰野は、骨組みに鉄筋を使用したものの、構造材にはあえて煉瓦を用いたのだ。それは、辰野がこの駅舎に一つの理想を求めたからであろう。煉瓦は当時の倉庫や工場によく使われた建材であり、彼にとっては民衆の活力の象徴だったのだ。皇室専用のみならず、庶民のためのものでもなければならない。彼は、建築を通して新しい国家の在り方を表そうとしたのだ。

そんな辰野の想いを託して、およそ一世紀もの時を経てきた東京駅。とはいえ、戦中には爆撃による被害を大きく受け、その大部分を焼失してしまったのである。その後、昭和22年には修復が完了し、駅舎は3階建てから今のような2階建てになった。

そして現在、東京駅は歴史的文化遺産を継承していくためにも、創建当時の姿に復原中だ。完成後は、1・2階は駅コンコース、ホテル、ギャラリーなどに利用される予定となっている。また、長い間姿を消していたドーム状の屋根も、このたび蘇るという。しかし、100年前の煉瓦と現代の煉瓦では色が異なる。その二つを違和感なく共存させるデザインの工夫も、新生「東京駅」の見所になってくるはずだ。

丸の内のシンボルとして長きに渡って人々に愛されてきた東京駅。これからも今まで以上に壮麗な姿で、東京を見守っていくことだろう。（福田美緒）


赤と白のコントラストが印象的な東京駅

伝統と美の融合

東京都庭園美術館

賑やかな都心から少し離れ、独特の落ち着きを持つ街、目黒。ここに、東京都庭園美術館がある。

この朝香宮邸とも呼ばれる建物は、久邇宮（くにのみや）家の第八皇子鳩彦（やすひこ）王御一家の住まいとして昭和8年に建立された。建築設計と内装の一部には宮内省匠寮の建築家が参加。戦後の一時期には、総理大臣の仮公邸や国の迎賓館などに使用されていた。そして、昭和58年10月1日に美術館として一般に公開され、現在に至る。

当館は、アール・デコ様式をとっている。この様式は、1920年代から30年代にかけて、フランスを中心にヨーロッパで流行した装飾美術の総称を指す。現代都市生活に適した、実用的でありながらも鑑賞に堪えるデザインが特色だ。

建物の外観は色調が抑えられ、無駄を省いた気品の高さが感じられた。館内の意匠はフランス人芸術家アンリ・ラパンが担当しており、内部装飾は海外から輸入されたものが多い。正面玄関には、当館のシンボルともいえるガラスレリーフがある。これは、同じくフランスのガラス工芸家ルネ・ラリックの作品で、有翼の女神が翼を広げる様子が表現されている。女神の体は立体的な作りとなっていて、まるで淡い照明の中で浮かび上がっているようだ。扉からは温かみが溢れ、来訪者を優しく包み込んでくれた。さらに、玄関の床は自然石で構成される幾何学模様のモザイクとなっている。他にも館内には、階段の手すりや大客室の扉など、至るところに細かなデザインが施されている。このように、見る者の目を楽しませてくれる工夫が随所に見られた。

また、美術館に隣接する庭園も一見の価値がある。様々な草花に囲まれながら彫刻の展示も見られ、歩いていて飽きない。読書をする人、談笑する人などもおり、ゆったりとした心地よい時間が流れている。

この美術館に来たなら、展示される美術品だけでなく、建物自体からにじみ出る芸術性を感じてほしい。緑滴る朝香宮邸で、優雅な夏のひと時を過ごすのも一興だ。（深田杏）

「東京都庭園美術館」
開演時間…10時～18時
休館日…毎月第2・第4水曜日


緑に囲まれ堂々と構える朝香宮邸

近代の巨匠に迫る

日本に初めて本格的な西欧式建築を伝承し、我が国の近代建築の育ての親となったのがイギリス人のジョサイア・コンドルだ。彼は1852年に、ロンドンで生を受けた。いつ頃からか建築に興味を抱くようになったコンドルは、親戚が経営する事務所で経験を積み、地元の大学に進学してからは本格的に建築学を学ぶようになる。卒業後は、当時のイギリスで隆盛していたゴシック・リヴァイヴァルという様式の先駆者ウィリアム・バージェスに師事した。

その3年後には天性の才能を発揮、24歳という若さで一流建築家への登竜門であるソーン賞を受賞し、早くも頭角を現す。ソーン賞とは、イギリス王立建築家協会が主催する大変名誉あるものだ。そして受賞をきっかけに、いっぱしの工匠としてコンドルは世に認められるようになった。その実力は日本でも高く評価され、明治10年工部省に招かれ来日する。

わが国でもコンドルはその才を活かし、大きな功績を残した。中でも、明治政府の西欧化政策で重要な舞台となった鹿鳴館が有名所である。その他、ニコライ堂や妙法寺鉄門など、国の重要文化財に指定された建造物も存在する。彼の創造する作品にはインド風もあればルネッサンス風もあり、多彩な形式を彼は巧みに採り入れていた。

またコンドルは自ら教壇に立ち、若者の養成にも熱意を注いだ。彼は工部大学校や東京帝国大学工科大学の講師を歴任し、「建築の歴史と芸術」を核として多様な建築様式論を繰り広げた。さらに彼は、自分が請け負った仕事場に生徒を同伴し、実地教育も行っていたという。このような積極的かつ実践的な指導が実を結び、日本銀行本店を設計した辰野金吾や、慶応義塾大学図書館を仕上げた曽根達蔵などが彼の教え子として活躍した。

以上のようにコンドルは、来日してからその生涯を閉じるまでの43年間で、現代まで語り継がれる程すばらしい作品を創造し、日本の建築界に大きな影響を与えた。今となっては拝観できない名作も中にはあるが、現存するものも多くある。彼の残した偉大な軌跡を辿ってみることで、日本の近代建造物の真髄を垣間見ることができるかもしれない。（田上ひかり）

企画　市川美奈子
　　　賀来　潤恵
構成　小室真衣子
　　　増井　亮太
レイアウト
　　　美馬　香織
取材　小畑　裕輝
　　　木村　明子
　　　瀬戸島紀子
　　　竹内　智紀
　　　田上ひかり
　　　原田富美子
　　　深田　　杏
　　　福田　美緒
　　　皆川　由紀
　　　宮下　秀毅
　　　和田恵理子

記者の眼

潔い人付き合いのすすめ

千利休の教えにこんな心得がある。「茶会に臨む際には、その機会を一生に一度のものと覚悟し、主客ともにお互い誠意を尽くして接せよ」というものだ。これは、有名なことわざ、一期一会の由来とされているものである。出来る限りの礼を整えて相手と向き合う、いかにも茶の湯の場面に相応しい言葉だ。現代においてこの四字熟語は、人との出会いの大切さを表し、元来よりもやや広義の意味で用いられることが多い。確かにコミュニケーション手段が多岐に渡る社会では、この人との出会いとその後の関係に敬意を払う精神は、ますます普遍的な価値を持っていくように思える。

近年mixiやGREEといった、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の普及により、幅広い人間関係作りが簡単になりつつある。ウェブ上の社会的ネットワークの構築が容易に行えるそのシステムは、人と人との情報の行き来を迅速化させた。それにより、多くの人々が手軽に情報交換し、それぞれの関係性を強めていける環境が整ってきている。

一方で、その人間関係の維持に尽力するあまり、SNSの依存症になる人々も現れ始めた。片時も携帯電話を放さず、寸暇を惜しんでサイトを覗く姿は周りでも多く見かける。中には、1000人にも上る相手のページを毎日確認する人も居るというから、驚いてしまう。そしてこれらを考えた時、やはり一期一会という四文字が浮かんでくる。出会いを大事にするという点では同義であるにもかかわらず、この依存現象とあまりに対照的な印象をもつ言葉であるからだ。

人との関わりを大切にすることは、確かに誠実な行為であるとも思う。しかし、目に見えて繋がりを確認できるという現代の人間関係に、妙な違和感と頼りなさを感じる時がある。穿った見方なのかもしれないが、関係が薄弱であるからこそ必死になって保っているかのように思えてしまう。

時には、一度限りの出会いに誠意を尽くすという思い切りの良さも、けじめがあって新鮮だ。それは、連絡手段の乏しい時代の生み出した、今は亡き潔さなのかもしれない。けれども、出会いの一瞬に腹を据え、そこに礼の限りを尽くす心意気を現代人は持っても良い気がする。人間関係がさらに複雑化した社会で、何か一つでも単純なものがあっていい、そんな風にも思うのだ。（文学部哲学科3年　阿部遥）

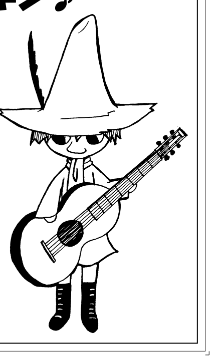
原油高から環境エコへ

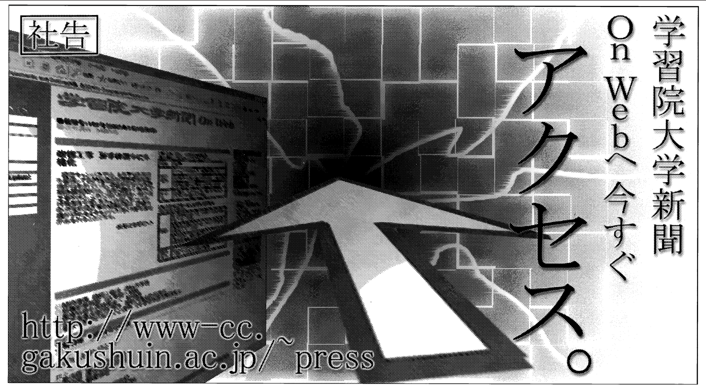
現在、世界中に大きな波紋を呼んでいる原油高。日本でも、様々な業界や消費者が影響を受けている。みなさんも、今まで買っていた商品がいつの間にか値上がりしていたり、量が減ってしまっているなどということに気付いたことがあるはずだ。

原油高によって、第一に影響を受けたのは石油関連業界である。材料の価格が高騰すると、商品価格を上げざるを得なくなる。石油の主な加工製品であるガソリンの価格の急激な値上がりは、最近ニュースなどでも多く取り上げられた話題だ。さらに、石油はガソリンだけでなく、様々な生活必需品の原料にもなっており、スーパーマーケットや100円均一ストアなどの量販店でのコスト高につながっている。また、漁船用の燃料高によって漁獲量が減少し、海産物の値段も上がった。このように、原油の値上がりによって、一般の消費者や、交通運輸業界、はたまた漁業界までをも巻き込み、広範囲に亘る社会に影響を及ぼしている。

けれども、原油高による影響は、先に挙げたようなマイナス面だけではないと私は思う。例えば、ガソリン価格の暴騰により、一般の家庭や法人において車の使用率が減る可能性が考えられる。これから、週末のレジャーなどに公共の交通手段を使う家庭も増えていくだろう。また、スーパーのレジ袋や製品の包装の有料化を実施する店舗を増やすことによって、その使用を減らすことができる。実際、最近では買い物の際にエコバッグやマイ箸などを率先して利用している人を多く見かけるようになった。そのような個々の小さな気配りによって、地球のCO_2削減に少しでも加担できるかもしれないのだ。それにより、オゾン層の破壊や、地球温暖化についても考えるきっかけになるだろう。

原油高を契機に身近な商品価格が上がることにより、全体的に製品の消費量が減少し、石油製品の無駄遣いなどが減る。そして、省エネルギー製品の新たな開発も次々に進み、環境の保護につなげることができるというプラス面があるだろう。確かに生活用品の続騰によって、家計は一層苦しくなってしまうかもしれない。しかしこれが、それぞれの身の回りの生活用品をもう一度見直し、環境の改善の取り組みへのきっかけになると思う。（英米文学科3年　勝浦輝実）





社告

CAMPUS GUIDE

募集のお知らせ

キャンパスガイドでは、学内外で行われる部活動およびサークルのイベントを紹介しています。

多くの学生が目を通す大学新聞にあなたが所属する団体の情報を掲載してみませんか？

学習院大学新聞社　３面

CAMPUS GUIDE

●国劇部
「歌舞伎公演」
日時：8月17日（日）
　開場　17時
　開演　17時30分
場所：みらい座池袋
料金：1000円
内容：部員で学生歌舞伎の公演を行います。伝統芸能等に興味がある方は是非いらして下さい。

●ギターアンサンブル同好会
「第35回プチコンサート」
日時：7月4日（金）
　開場　17時
　開演　17時30分
場所：百周年記念会館小講堂
料金：無料
内容：『少年時代』『パイレーツオブカリビアン』等、様々な曲目を演奏します！あの曲をクラシックギターでどう表現するのか？公演途中の入退場OKですので是非お越し下さい。

●輔仁会雑誌編集委員会
「雑誌賞作品募集」
締切：9月10日（水）
内容：雑誌賞の作品を募集しています。ジャンルは小説、文芸評論。学習院の全学生、職員が対象で、入選者には賞金も出ます。詳しくは黎明318前にあるビラをご覧下さい！

●音楽部
「大学女声合唱団定期演奏会」
日時：7月12日（土）
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール
料金：700円
内容：1月からの練習成果を披露します。1年生も参加します。ご来場をお待ちしております。

大差で成蹊大を粉砕
ラクロス部女子
地力の違い見せ圧勝

6月15日、武蔵大学朝霞グラウンドにて四大学総合定期戦が行われ、本学は成蹊大と対戦した。決戦前日「どれだけの点差をつけられるかが重要ですね。10点差はつけたいと思っています」と強い自信を覗かせた宇賀神美雪主将（独4）。試合開始直後こそ拮抗した内容となったが、序盤以降は本学が攻守に渡り成蹊大を圧倒する。10点差とはならなかったものの、12—4の快勝を収めた。

初夏を思わせる強い日差しが降り注ぐ中で、試合は始まった。開始早々、神尾葉月選手（女子大・国コミ4）が右サイドを駆け上がり、両校を通じて最初のシュートを放つ。これは相手ゴーリー正面を突いてしまうが、試合が本学ペースとなることを予感させた。ところが前半5分、本学はゴール前で犯したファールをきっかけに失点してしまう。すぐさま渡邉知恵選手（政4）の得点で追いつくが、なかなか波に乗れない。その後両者が1点ずつ取り合い、2—2となった後の13分であった。成蹊大の速攻を防げずゴールを割られ、2—3と再びリードを許す。たまらず本学はタイムアウトをコールした。

ここで一旦、選手たちが集まり戦術の確認を行う。これが功を奏したのか、試合が再開すると彼女たちは徐々に本来の力を発揮していく。16分、町井香織選手（法3）が中盤で相手のパスをインターセプトする。ここから素早く成蹊大陣内へとボールを運び、最後は八太礼佳選手（政2）が落ち着いて決めた。これで、三度同点とした本学。18分にはゴーリーの小堀朗子選手（政3）が相手ATと一対一というピンチを迎えるが、好セーブによりなんとか切り抜けた。その後も成蹊大攻撃陣がたびたび本学ゴールを脅かすが、小堀選手に加え、DFの井浦悠梨選手（哲4）に池田彩子選手（営4）、関妃選手（英2）らが必死の守りを見せ勝ち越し点を与えない。

すると、今度は本学がチャンスを創り出す。宇賀神主将を軸として果敢に攻撃を仕掛け、迎えた22分。町井選手がゴール前でパスを受けると、角度が小さい位置からシュートを突き刺す。これにより、本学はこの試合初めてのリードを奪った。さらに終了間際には、相手ゴーリーが大きく飛び出した隙を突き町井選手がゴールネットを揺らす。結果、5—3というスコアで前半を折り返すこととなった。

後半に入ると、本学が完全にゲームを支配する。開始わずか1分、宇賀神主将から神尾選手へとパスを繋ぎ、ゴール前でラストパスを貰ったのは渡邉選手だ。この好機を確実にものにし、6—3とさらに点差を広げる。その後1点を失うものの、7分には素早いボール回しで相手DFを翻弄し、最後は佐瀬祐理選手（法4）がシュートを叩き込んだ。続く11分、中盤でボールを奪取した町井選手がそのまま敵陣に侵入し、この試合で自身4点目となるゴールを決めてみせる。また、その2分後には高橋朝香選手（哲4）の得点を町井選手がアシストするなど、町井選手は抜群の存在感を示してくれた。17分には、それまで攻撃の中心としてチームに貢献していた宇賀神主将が自ら点を取り、11—4とする。さらに終了1分前にも宇賀神主将を起点に得点が生まれ、最終的に本学は12—4と大勝を飾った。

主将は試合後「8点差というスコアは少し不満ですが、私たちの実力を示すことはできたと思います。勢いはこのままにリーグ戦ではベスト4以上、ゆくゆくは関東制覇を達成したいです」と力強く述べてくれた。このチームならば、どんな高い壁も乗り越えてくれるであろう。（宮川雅志）


関東制覇という大きな目標に向け、最高の滑り出しとなった本学

成城大下し1部残留
ホッケー部女子


鳥海選手（左）の華麗なスティックさばきが対峙するDFを翻弄する

6月22日、明治大学八幡山グラウンドにて、春季関東学生リーグの1部2部入れ替え戦が行われた。対戦相手は2部を2位で勝ち上がってきた成城大である。今季1部に所属していた本学はリーグ戦では1勝にとどまったが、強豪校と戦ってきたというプライドを胸に、大一番に臨んだ。

試合開始直後、本学は幸先良く先制点を奪う。相手の反則により得たペナルティコーナーのチャンスを、鳥海結選手（営4）が確実にものにしたのだ。その後も本学は攻撃の手を緩めない。鳥海選手が虚を突くスルーパスで好機を幾度も演出する。前線では菊池由梨奈選手（法3）がボールをキープし、味方の攻め上がりを促していく。

そして前半終了間際の30分、またもペナルティコーナーがきっかけとなり点が生まれる。鳥海選手の放った強烈なシュートが相手DFに当たり、こぼれたところを真崎絵理選手（営4）が押しこんだ。ここで前半は終了し、2—0のままハーフタイムを迎えることとなる。

後半に突入しても、本学の勢いは衰えない。10分、土田梨奈選手（日3）が左サイドから絶妙なクロスを上げると、精木美乃梨選手（営3・あべき）が上手く合わせ、中央に折り返す。このボールを中盤から走りこんできた上野亜希子選手（政4）が受け、そのままゴール左隅に突き刺した。本学の流れるようなパスワークに、会場には大きな歓声が沸き起こる。

とどめは後半の21分だ。巧みなドリブルで菊池選手が相手守備網をかいくぐり、フリーになっていた上野選手にパスを送る。お膳立てを受けた上野選手はGKの動きを冷静に見極め、ダメ押しとなる4点目を決めた。また、素早い対応で反撃の芽を摘み取り、終始安定感を見せていた本学守備陣。最後まで集中力を切らさず、4—0の完封勝利に大きく貢献した。

試合後、長尾恵梨子主将（政4）は「先に点を取れたことで、自分たちのペースで試合を進めることができました。それぞれがしっかりと自分の仕事をしたことも良かったと思います」と試合を振り返った。さらに「技術・体力だけでなく、精神面でも相手の優位に立つことができました。部員全員の気持ちが一つになった、チーム一丸で掴んだ勝利です」と笑顔で語ってくれた。

無事1部残留を果たした本学。だが、彼女たちは今回の結果に満足することなく、さらに上を目指す。関東1部リーグで5位以内に入るという目標に向け、厳しい修練を積んでいく。（平野健）

勝利に届かず
フェンシング部

6月15日、専修大学生田キャンパスにて剛騎杯が行われた。今大会は、本学が新体制になって初めての試合であり、出場している選手も強豪ぞろいである。そのため、来年のリーグ戦につながるよう、チームは力試しのつもりで挑んだ。

フルーレ部門では、予選は1プール4人で行われ、小谷隼之選手（営2）と川瀬俊介選手（心2）が出場した。初戦は小谷選手が相手を圧倒し、5—0で完勝する。3試合目で彼は優勝候補の選手に当たり、力の差を見せられるも、1勝2敗で決勝トーナメントに見事進出した。その1回戦では、まずカウンターでポイントを先取。ところがその後、次第にタイミングを外され、惜敗してしまった。

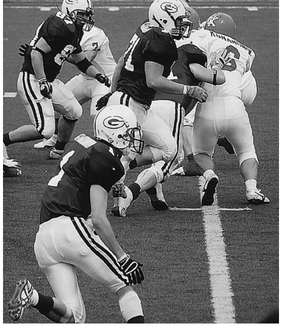

守りを固め反撃を狙う小谷選手（右）

続く川瀬選手は、序盤落ち着いたフットワークで相手にフェイントをかけ点を取る。しかし、それ以降は相手選手の猛反撃によりペースが乱れ、後退を余儀なくされ追い詰められる。結局最後まで力を振るえず、予選での敗退となった。

荒井佑哉選手（済2）が出陣したエペ部門の予選は、1プール5人で争われた。荒井選手は、流れを掴むべく小刻みなフットワークを見せるが、相手の積極的な突きにより、チャンスを見出せない。だが未勝利のまま迎えた最終戦では相手の突きを避けつつ、怒涛の攻めを繰り出す。激戦の末に勝ちを収め、1勝3敗となり決勝トーナメントに進んだ。1回戦では序盤から激しい攻防を繰り広げる。冷静な剣さばきを見せるも、一瞬の油断から隙が生まれ、4—5で敗れた。

試合後「練習をこれまで以上にこなし、自分たちより格上の選手とも互角に戦えるようになります」と意欲を語った小谷選手。この試合で得た経験を生かし、彼らは勝利への道を切り開いていくのだ。（谷口竜基）

惜敗も成長の糧に
アメリカンフットボール部


ボールに喰らいつき、走り出す本学選手たち

6月8日、アミノバイタルフィールドにおいて対甲南大学定期戦が開催された。試合前のインタビューで宮一龍之介主将（法4）は「昨年は負けてしまいましたが、その時の悔しさと勝利への思いをぶつけていくつもりです」と闘志を見せている。

コイントスの結果、本学の後攻に決定、ゲームが開始された。両校の代表が熱く握手を交わし、本学のDB瀧川力選手（法2）によるキックオフ。本学は果敢にタックルを挑み、ランの阻止を試みたが7点を先取されてしまう。続いて攻守交替により本学が攻めに転じると、宮一主将が見事なランで40ヤードを駆け抜けた。さらにそのまま敵陣へ突入、ファーストダウンに成功し、観客を沸かせた。しかし、得点には結びつかずに本クオーターが終了してしまう。

だが、本学は第二クオーター序盤で初の点を得る。QB山田創平選手（法4）からのパスを、WR山本洋平選手（物2）が見事なランでタッチダウンに結び付けた。彼は今大会でMVPに選ばれた実力ある選手だ。その後、甲南大のパスをLB鈴木隆太郎選手（営2）がカットするなど、守備が粘った。攻撃もRB植田将広選手（法3）のキレのあるランが光り、7—21で前半戦は終了となった。

そして後半戦が始まる。最初はパントで相手に攻撃権を渡すが、LB川口尋也選手（済2）がタックルによって相手のランを阻む。本学の得点チャンスとなるも、ディレイオブゲームの反則で好機を活かせなかった。その後もチームのQBがサックされ、大幅なロスとなる。第4クオーターでは、WR石川賢司選手（済2）が3人をかわし得点を奪取するが逆転叶わず、21—56で敗北を喫した。

試合後に宮一主将は「決して勝てない相手ではありませんでしたが、決定的な場面でのミスが痛かったです。今後は春のリーグ戦へ向け、チームの団結力を高めていきます」と語ってくれた。今回の経験を基軸に日々の練習に励んでほしい。（菊岡真衣）

FLASH BACK
自転車愛好会　鈴木 禄徳さん（済3）
世界を駆ける　真の努力家

未舗装の野山をハイスピードで駆け抜けていく——それがマウンテンバイクレースである。鈴木さんは自転車愛好会のレース班に所属し、ロードレースの試合に参戦しつつ、マウンテンバイクレースの大会にも参加を重ねてきた。そして着実に実績を挙げ、今回、5月にオランダで行われたマウンテンバイクレースの世界大学選手権に出場を果たしたのだ。

そんな鈴木さんが自転車をスポーツとして始めたのは小学校4年生だという。父親に連れられてサイクリングを楽しみ、次第に興味が湧き大会に参加するようになった。その後、辛い練習を積み、日本代表として世界大会に出場するほどの実力をもつようになる。

鈴木さんは日本ではプロと同じカテゴリーのレースに挑んでいるが、今回は学生の大会ということで、普段と違ったカテゴリーであった。結果は、MTBクロスカントリーが57人中30位、MTBマラソンが40人中21位。「自転車がマイナー競技である日本では、世界大会に参加しても、順位がつかない、もしくは最下位に近いという結果になることが多いんです。そんな中で、学生の枠組みではありましたが、全体の半分程度の順位であることに満足しています」と今大会を振り返ってくれた。

また、鈴木さんは自転車の魅力について「エンジン付きの乗り物では行けないような所でも縦横無尽に走れ、自由な遊び方ができることです」と熱く語る。さらに、肉体的に辛くてもやめたいと思ったことは一度もないという。「努力の重要性、辛くとも競技を楽しもうとする気持ちを学びました」と自身が受けた影響についても話してくれた。

今後の抱負について「マウンテンバイクレースでは23歳以下のカテゴリーでの全日本選手権の優勝、ロードレースでは、大学の全国大会での入賞を果たしたいです」と鈴木さん。全国でもトップクラスの実力を持つ彼ならば、この困難な目標を達成してくれるだろう。自転車はまだメジャーでないスポーツかもしれないが、多くの魅力を持っている。ぜひ観戦し、その面白さを感じ取ってもらいたい。（板垣亮平）

TOPICS

その他の試合結果

【馬術部】▼関東学生馬術争覇戦▽対東京農工大　勝ち▽対中央大　負け▽対東海大　負け

【硬式庭球部女子】▼四大戦▽対成蹊大　5—2▼対抗戦▽対日本女子体育大　6—1

【應援團チアリーダー部】▼アジアインターナショナルオープン・チャンピオンシップ決勝▽27位

【弓道部男子】▼四大戦▽2位

【弓道部女子】▼四大戦▽1位

【漕艇部】▼東日本大学選手権▽男子舵手無しペア3位入賞

お詫びと訂正

前号の水泳部の記事において、GKの選手名に坂英和選手（済4）とありましたが、正しくは福井博隆選手（法3）でした。福井選手をはじめ、関係者の方々に深くお詫びするとともに、訂正いたします。

デスクの片隅

毎号特集を組む2・3面では毎月企画書を作成し、編集会議にそれを提出している。企画書とはいわば紙面を構築する設計図であり、重要な役割を担っているのだ▼入社以来私は常に[illegible]作りに奮闘して[illegible]かしまだ仕事の要[illegible]ない1年の頃は、[illegible]の多いものしか作[illegible]った。よく会議で[illegible]指摘され、自分の[illegible]なさに情けなく[illegible]のだ▼だが、そ[illegible]ちは逆に私を前[illegible]てくれたのであ[illegible]のない企画書に[illegible]料を読み、熟知[illegible]う努力した。さ[illegible]の中身のみなら[illegible]で発表する際は[illegible]さで明確に説明[illegible]も肝心なのだと[illegible]元々人前で発言[illegible]苦手だったが、[illegible]るごとに話すコ[illegible]るようになった[illegible]▼3年間でここま[illegible]できたことは私に[illegible]大きな喜びだ。指[illegible]くださった先輩[illegible]い時に励まして[illegible]期たちに大変感[illegible]る。今号を以て[illegible]するが、今の自[illegible]である新聞社で[illegible]忘れず、これか[illegible]していき[illegible]

社告

新聞づくりは文章上達の近道。膨大な情報のなかから不要なものをいかに落とし、必要なものをいかにまとめていくかがポイント。企画を練り、取材を行い、記事を書き、見出しをひねり出すことで、自然と情報を編集する力がついてくる。その力は講義でも演習でも役に立つこと請け合い。興味がある方はぜひ黎明会館316号室へ。

社員、募集。

学習院大学新聞社
黎明会館316号室　3986-0221（内線2607）
http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~press

社告

4面コラム
FLASH BACK

感動のあの一戦を紙面に残してみませんか？

学習院大学新聞社
黎明会館316号室
E-mail:gakushuinpress@hotmail.com